

## 実践記録（小6・総合）

### 1 ねらい

付箋紙を使い、対話的な学びとしての意見交流を行うことによって、新たな意見を自分の考えに取り入れ、自分の考えを深めることができるようにする。

### 2 手立て

付箋紙を用いた交流を行うことで、自分の考えや友達から得た新しい考えなどを視覚化することができ、自分の考えを再構築する際に、活用しやすくなる。また、付箋紙に書くことに集中してしまい、友達の考えをしっかりと聞くことができなかつたり、友達の考えに対する自分の考えを示すことができなかつたりする課題を克服するために、書いて貼る活動と、貼った付箋について補足をして説明する活動を分けて行った。この活動を交互に繰り返し行うことで、自分や友達の考えを視覚化したうえで、意見交流をしっかりと行うことができると考えた。

### 3 実践の様子

前時の学習で、無料通話アプリが原因で起こった事件や、実際に問題のあるやり取りが行われている様子、そして、無料通話アプリの便利さについて、写真や映像を用いて子どもたちには伝えてあった。その上で、よい点や悪い点を自分で考えたり友達から聞いたりしてまとめ、自分の考えを書かせた。子どもたちは、「大切なことは、直接会って伝えればよい。」「無料通話アプリを使わずとも、ほかにも連絡を取れる方法はある。」といった否定派や、「使い方に気を付けて使えばとても便利で楽しいもの。」といった賛成派に、ほぼ



【交流の様子（資料1）】

半数ずつに分かれた。その後の付箋を用いた交流では、子どもたちがそれぞれの考えをぶつけ合い、白熱した話し合いが行われた。（資料1）そして、話し合いの結果、自分が初めにもった考えが変容したり、友達の意見が付け加わって自分の考えの説得力が増したりして自分の考えが深まった子どもも見られた。（資料2）しかし、一方で初めにもった自分の考えからほとんど変容がなかった子どもも見られた。

3. 友達との話し合いを通して、自分の考えをまとめ直そう。  
(~さんの意見を聞いて、~と思っていたけど...) (~さんの... ※ やっぱり...)

ふせんにかかっている内容から、やっぱり  
※ は、必要じゃないと思います別に...  
※ なくなっても、生きられるので、それだっ  
らいじめをなくした方がいいので、LINE  
は使い方を正しく使えば、便利だけと  
毎日毎日スマホを、持てないといけない  
ので、そこが不便だなよと思ったから

【意見交流によって自分の考えを深めた子どもの記述（資料2）】

（※は無料通話アプリの名称）

### 4 成果と課題

- すべての子どもが無料通話アプリの便利な点と問題点について知り、それをふまえた上で、自分の考えをもつことができた。
- 交流の行い方を工夫したことによって、多くの子どもが友達から得た意見を取り入れて、自分の考えより良いものにすることができていた。
- 付箋紙を用いた意見交流にまだ慣れておらず、戸惑う様子の子どもの見られた。
- その便利さや楽しさを知っているがゆえに、立場が異なる意見のよさを否定してしまい、考えが深まらなかった子どももいた。